

創造支援のための3次元形状生成システム

企業 / 富士総業（株）

研究者 / 石井郁夫（新潟大学大学院自然科学研究科教授）

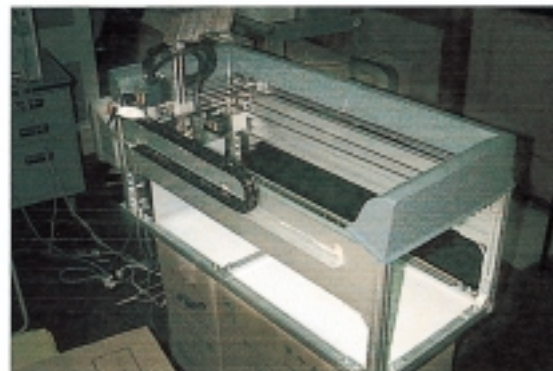
本モデル化は、デザイン・形状確認・試作などが個人レベルで全て可能になる造形支援システムの実現を目的とし、形状データを実空間へ出力する廉価な立体物造形機（3Dレンダラー）と、バーチャルリアリティ（VR）技術を利用したモデラーを開発した。

（1）3Dレンダラー

過熱した刃物で素材を溶融切削することにより成型する方式の試作機を製作した。ワークサイズ200×150×50 [mm] で、発砲スチロールを素材に加工精度±3mm以下を実現した。

（2）VRモデラー

立体視しながら、空間マウスを用いたブロックの積み重ね、削り取りによる造形を実現した。煩雑なコマンド操作を極力廃し、芸術家やデザイナーにも使いやすい、思考を妨げない創造ツールである。



3Dレンダラー